

2019年・1月度の活動報告	
4日(木)	新年賀詞交換会(宇都宮市、小山市)
7日(月)	連合栃木新年会
8日(火)	栃木県県民生活部、保健福祉部部長 訪問 第5回とちぎ消費者ネットワーク幹事会 NPO法人とちぎ消費者リンク事務局会議
10日(木)	とちぎ消費者カレッジ (足利大学)
15日(火)	2019年賀詞交歓会 第4回常務理事会
18日(金)	第2回 役員・幹部職員定期学習会(環境)
21日(月)	宇都宮市食品安全懇話会
22日(火)	農業試験場グループインタビュー
24日(木)	NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
25日(金)	鹿沼市長訪問 平成30年度栃木県孤立死防止見守り事業 (とちまる見守りネット) 連絡会議
29日(火)	日生協連中央地連運営委員会・県連活動推進会議 宇都宮市消費生活講演会
31日(木)	よつ葉生協セットセンター新築を祝う会

【1月度の振り返り】

◇機関運営

- 15日 2019年賀詞交換会
第4回常務理事会
- 18日 第2回役員・幹部職員定期学習会

◇ネットワーク活動

- 8日 消費者ネットワーク第5回幹事会
- 10日 とちぎ消費者カレッジ (足利大学)

◇行政関連

- 21日 宇都宮市食品安全懇話会
- 24日 鹿沼市長訪問
- 25日 平成30年度とちまる見守りネット連絡会議
- 29日 宇都宮市消費生活講演会

◇被災地支援、防災

- 3.11を忘れない～被災地のいま～をHPに掲載

◇その他

- 4日 新年賀詞交換会(宇都宮市、小山市)
- 7日 連合栃木新年会
- 8日 栃木県県民生活部、保健福祉部 部長訪問
第5回とちぎ消費者ネットワーク幹事会
- 22日 農業試験場グループインタビュー
- 29日 日生協中央地連運営委員会
県連活動推進会議
- 31日 よつ葉生協セットセンター新築を祝う会

〈NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動〉

- 8日 消費者リンク事務局会議
- 24日 消費者リンク理事会

県連活動

1. 機関運営

- 1月15日(火)、2019年新春賀詞交換会を開催しました。〈参加者 75名〉

新年のご挨拶と、生協への理解を深めていただくこと、相互の連携強化を図ることを目的に開催しました。県知事の福田富一様をはじめ、国会議員並びに議員秘書の皆様、県議会議員、自治会連合会、行政、学識者、社会福祉法人、協同組合、NPO法人等、大勢の皆様にお集まりいただき、和やかに交流が行われました。



福田知事に、年頭のご挨拶をいただきました。

- 1月15日(火)、2018年度第4回常務理事会を開催しました。

議決事項 次月度の活動計画と決算報告/2019年度事業方針及び予算承認/「賛助会員基準」一部改訂/「予算管理規程」設定/第50回通常総会に関連した事項/第50回代議員定数枠及び選挙区定数/2月定例理事会(2/12)の附議議案

協議事項 第7次中期計画策定/第7次中期計画策定計画/県連創設50周年記念事業計画(案)/生協検査の指摘事項対応と口頭指摘等への対応

報告事項 種子法廃止に伴う「主要農産物の主旨の安定供給に関する李条例の制定を求める要望書」及びその署名の呼びかけ人報告

- 1月18日(木)、2018年度第2回役員・幹部職員定期学習会を開催しました。

■農家が消える-自然資源経済論からの提言-

■日本環境会議理事長 一橋大学名誉教授 寺西 俊一 氏

自然資源を経済の柱として、持続可能な社会を築くための方向性について学びました。人の生存に欠かせない環境要素等を、社会的共通資本として考え、守ることの重要性や、日本の国土と相似性があるオーストラリアでのエネルギー政策・地域政策等、今後、日本が進むべき道を考えるにあたり、大切なことを共有でき、意義のある学習会となりました。



2. 行政関連

- 1月21日(月)、第2回宇都宮市食品安全懇話会が開催されました

2014年3月に策定された「第2次宇都宮市食品安全推進計画」に続いて、「宇都宮市食品安全条例」に基づき、食品の安全の確保に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、2019年～2023年までの計画「第3次宇都宮市食品安全推進計画(素案)」を策定しています。

- 1月29日(火)、宇都宮市消費生活講演会「実践!消費者教育講座」が開催されました。

「消費者教育支援センター総括主任研究員 中川 壮一 氏」より、消費者教育講座(出前講座)の作り方、指導法等について学びました。

- 1月25日(金)、平成30年度栃木県孤立死防止見守り事業(とちまる見守りネット)連絡会議が開催されました。

2015年4月に栃木県生協連は会員生協を代表して、県と孤立死防止見守り事業「とちまる見守りネット」を締結しました。現在20団体が県と締結し、栃木県警本部、栃木県民生委員児童委員協議会、市町とともに、地域全体で住民を見守るネットワークを構築し、安心して暮らせる地域づくりを目指しています。今回は、今年度締結を行ったセブン-イレブン・ジャパンの取り組み状況報告と、県より「地域共生社会の実現」についてご報告がありました。

3. その他

- 下野新聞社、2019 TOP INTERVIEW -新時代の岐路に立つ- 掲載記事

取り残された人を救う



1969年、消費生活協同組合法に基づき創設された栃木県生活協同組合連合会は、今年創設50周年を迎える。「半世紀を迎えました。生協は暮らしを良くするための団体です。『より良き暮らしと平和のために』をスローガンに今までと変わらぬ活動を続けたい」。節目の年を迎え、こう抱負を語る。

西日本豪雨、北海道胆振東部地震と日本が大きな災害に見舞われた2018年。17年には九州北部豪雨への支援募金を送ったのに続き、北海道や西日本の各県生協連を支援する募金を集めている。「被災者支援は生協の社会的な役割の一つです。被災者に『何が必要か』を聞き、それに合わせた支援をしていきたい」という。

社会で起きている問題とその背景を学び、協同組合人としての力量を高める目的で、生協の役職員を対象に行っている定期学習会は4年目を迎えた。大学教授を県内外から招き、人権や環境、エネルギー、福祉、気候変動などさまざまなテーマについて学ぶ。SDGs（エスディーゼイズ）（持続可能な開発目標）についてもテーマに取り上げた。

SDGsは国連のサミットで採択された目標で、貧富の差や戦争などさまざまな問題を解決し、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っている。「SDGsでは貧困、性差別、環境、雇用など17項目の目標を掲げています。講演を聞いた後にはグループでディスカッションし、レポートを出します。学んだことを実際に生協の活動の中に反映させていくことが目的です」と言う。

今年度は新たに福祉部会を立ち上げ「暮らしのお役立ちアンケート」を行った。そこから見えてくる問題を生協間の連携で解決できるような取り組みを目指す。

「公的な援助を受けられず、はざまに取り残されてしまった人を救う社会を作らなければなりません。本当の豊かさを問い続けていきます」と語った。

- 1月29日(火)、日生協中央地連部会運営委員会、県連活動推進会議が開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

■理事会主要議題報告

〈全体概況報告〉日本生協連 2018年12月度概況報告、コフ^o 共済連 2018年12月度事業進捗報告
〈運営・組織関連〉一般活動報告(2018年度第3回県連活動推進会議、2018年度異教・行政合同会議開催報告)/2019年地区別・総会議案検討会議開催について/第69回通常総会での役員選任における「地方区分理事」及び「全国区分役員(理事・監事)」の定数決定について/第2回「ジャパンSDGsアワード」副本部長(内閣官房長官)賞の受賞 2018年度全国生協組合員意識調査結果詳細報告/2017年度全国組合員活動実態調査(2018年度実施)結果について/平成31年度税制改正要望の結果に

ついて/中央環境審議会「プラスチック資源循環戦略」への意見提出について/
 プラスチック容器包材へのコープ商品の対応方針/2019 ワールドパラノルディ
 ックスキーワールドカップ札幌大会へ協賛/執行役員の追加選任/2019 年 1 月
 21 日付け組織変更および幹部人事について/協会けんぽの保険証交付に係る対
 応状況について/2030 ビジョン素案について/第 69 回通常総会予定議案の協議

〈支援募金報告〉

- ・ 西日本豪雨緊急支援募金
 全国生協が取り組む募金総額は 10 億円超。日生協開設口座に約 7 億 9 千万円(12/14 終了)
 送付先コープ…災害支援情報センター(岡山県、広島県)/広島県災害ボランティアセンターへの看護
 師派遣/中央共同募金会「平成 30 年 7 月豪雨災害ボランティア・NPO 活動サポート
 募金への支援金/被害の大きい岡山県・広島県・愛媛県への送金
 ※岡山県では現在も支援活動継続。一部を支援金として地元の非営利団体に、その他を義援金として
 被害の大きい倉敷市に寄付する事を岡山県連で検討中。広島県と愛媛面は全額義援金として県へ。
- ・ 北海道胆振東部地震緊急支援募金
 135 生協・事業連合より 3.5 億円を超える募金。12/15 締切を過ぎての申し入れがあり、継続
 して受け入れ。11 月上旬の一次締め切り時に「JA 北海道中央会(生産者支援)」と「関係自治
 体(北海道と 7 つの自治体への義援金、支援金)」に 1 億円ずつ送金。残りの分は改めて報告。
- ・ 東日本大震災復興支援の取り組み、2019～2020 年度とその後の取り組みについて
 復興支援の取り組みを全国の生協に呼び掛けてきたが、2020 年を 10 年の区切りとして一旦
 終了。それ以降は状況に応じて対応を検討。単協で実施している支援の情報収集と必要な発
 信は継続。(2011 年度の義援金は、全国生協より 24 億円が寄せられ、生協グループ全体で 36
 億円。支援金は 8 億円超。募金累計としては 44 億円。地域支援などボランティアには累計 7
 万人以上)

ネットワーク活動

1. とちぎ消費者ネットワーク

● 1 月 8 日(火)、2018 年度第 5 回幹事会を開催しました。

幹事会学習会では、栃木県在住消費生活アドバイザー連絡協議会の会長高岡幹事より、「近い将来
 のキャッシュレス化の動き」について学びました。続いて、とちぎ消費者カレッジの開催報告、2018
 年度の振り返りと 2019 年度の計画、および、参加団体からの活動報告等を行いました。

● 栃木県の委託事業、とちぎ消費者カレッジ第 11 回を開催しました。

開催日・回	会場	講師	演題	参加人数
第 11 回 1 月 10 日	足利大学	とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉 崇徳 氏	悪徳商法防衛術 ～あなたのお財布守ります～	152 名

被災者支援活動、防災、平和の取り組み

1. 被災者支援の取り組み

● 被災地の情報提供

みやぎ生協さんからの報告をもとに、東日本大震災と津波の被害からの「いま」を追う

「3.11 を忘れない～被災地のいま～ 第 6 5 回「小さな人々にスポットを当てたい」タガの柵
 (き)を HP に掲載しました。

栃木県生活協同組合連合会 2019年2月度以降の活動予定

2019年1月31日(木)

2019年2月度スケジュール 予定	
1日(金)	小山市地産地消・食育推進協議会 MCA 防災無線訓練(日生協)
3日(日)	第11回とちぎ地域・自治フォーラム
4日(火)	全国漁業協同組合青年・女性交流大会審査会
6日(水)	食品安全講演会
7日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会 第3回福祉部会
9日(土)	SDGs から読み解く未来に向けた社会づくり講演会
12日(火)	第5回理事会
14日(木)	栃木放送番組審議会
15日(金)	栃木県労働者福祉協議会幹事会
18日(月)	第5回くらし部会 NPO法人とちぎ消費者リンク事務局会議
21日(木)	第3回 役員・幹部職員定期学習会(農業)
26日(火)	NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
28日(木)	全国漁業協同組合青年・女性交流大会審査会
2019年3月度予定	
1日(金)	全国漁業協同組合青年・女性交流大会審査会
4日(月)	JA フォーラム
5日(火)	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
12日(火)	第5回常務理事会
13日(水)	小山市地産地消・食育推進協議会
14日(木)	沖縄視察研修
15日(金)	〃
16日(土)	〃
19日(火)	平成30(2018)年度第2回とちぎ食育推進連絡会
18日(月)	第4回 役員・幹部職員定期学習会(討論会)
25日(月)	とちぎ消費者カレッジ(足利大学看護学部)
26日(火)	2018年度報道代表者会懇談会
28日(木)	日本生協連中央地連運営委員会、日生協総会議案検討会議